

令和 3 年 8 月 17 日

岐阜県病害虫防除所

トマト 灰色かび病の発生に注意！

今年は梅雨期間が平年より長く、中山間・高冷地域では、梅雨明け後も降水量が多く、日照時間の少ない期間があったため、8月上旬調査において多くのほ場で発病株率が増加しています（表）。

向こう1か月の気象予報（8月12日発表）によると、気温は平年並～高く、降水量は平年並～多く、日照時間は平年並～少ないと見込まれています。今後は、気温の低下とともに降雨が続くと本病の発生に好適な条件となり発生量が増加すると予想されますので、以下の対策を行ってください。

表 令和3年度トマト灰色かび病発生状況調査結果

調査地点	発病株率（％）	
	7月下旬	8月上旬
中濃地域 白川町	18.0 (19.3)	32.0 (49.4)
東濃地域 恵那市	12.0 (17.0)	24.0 (38.0)
高山市①	1.3 (11.0)	0 (29.0)
飛騨地域 高山市②	0 (1.0)	21.3 (10.8)
下呂市①	9.3 (22.7)	28.0 (44.5)
平均	8.1 (14.2)	21.1 (34.3)

注）（ ）内は平年の値を示す。

【耕種による対策】

- 果実に付着した花がらは早期に取り除く。
- 発病した果実や茎葉は見つけ次第摘除し、ほ場外へ持ち出し適正に処分する。
- 多湿にならないよう、積極的な換気に努める。

【農薬による対策】

- 連続した降雨が予想される場合は、発病前から予防散布を行う。
- 発病した果実や茎葉が認められる場合は、ほ場外へ持ち出し処分してから薬剤散布を実施する。
- 系統が異なる薬剤でのローテーション防除に努める。特に耐病菌の存在が報告されている薬剤は連用を避ける。

- ・農薬の使用にあたっては、最新の登録内容を確認し、適正に使用してください。
農薬登録情報提供システム
<https://pesticide.maff.go.jp/>
- ・当所のホームページに発生予察情報、病害虫調査データなどを掲載していますのでご活用ください。
岐阜県病害虫防除所
<http://www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/24321/>